



### タヒチ・フレンチポリネシアについて

日本から約9,500km離れた南半球に位置するタヒチは、ソシエテ諸島、ツアモツ諸島、マルケサス諸島、オーストラル諸島、ガンビ工諸島の5つの諸島群に118の島々が点在する南太平洋の楽園。広大なエリアゆえ、オーバーナイトセイリングも楽しめる。タヒチ・パールレガッタをはじめ、モーレア・ランデブーなどのセイリングイベントを年に数回実施していて、海外からのセイラーを歓迎している。

#### 気候

南半球に位置するタヒチの気候は、一年中温暖な亜熱帯海洋性気候に属し、平均気温は年間を通じて26 前後と過ごしやすく、海水温も26～29 といつでも泳げる。季節は大きく分けて12月～3月が雨季、4月～11月は比較的涼しい乾季にあたる。

#### 風

4月～11月の乾季にあたる季節が風向も風力も安定していてクルージングにはベストシーズン。特に7 8月には「マラムム」と呼ばれる南寄りの季節風が強まるので、セイリングにはもってこいの季節となる。ただ、ヨットの上で夜風を楽しむには長袖を1枚用意しておくこと。12月～3月の雨季には「トエラウ」と呼ばれる北寄りの風が吹き、風向は不規則になるが貿易風ゆえ大きく変わることはないので、年間を通じてクルージングが楽しめるヨット天国といえる。

#### クルージングエリア

タヒチでもっともヨットの盛んなのが、ソシエテ諸島のリーワードの島々。ボラボラ島があることで有名で、ライアテア島にはヘアポートやクルー付のヨット会社が各社ベースを構えている。湖のようなラグーン内のクルージングはもとより、島から島への移動も3時間から5時間程度と距離が近く、ダイナミックな外洋セイリングも楽しめる。

#### アンカリング

リーワードの島々では、潮位差は約20cm。月による影響はなく、太陽だけの干満となるので、とてもわかりやすい。ラグーン内は、アンカーの効きもよく、クルージングの主要ポイントには、係船ブイも設置され、誰でも無料で利用することができる。マリナーや、ヨットクラブも各島にあり、食材や飲み物、清水や燃料補給も容易なのがヨットマンにはうれしい。

創業20年、南太平洋を駆け巡るヨットチャーター専門旅行会社  
**テクレジャー株式会社** TECHNICAL ASSURANCE  
東京都知事登録旅行業第3-2864号

WEB : <http://www.yachtcharter.jp>  
E-MAIL : [info@yachtcharter.jp](mailto:info@yachtcharter.jp)

日本全国から通話料無料 ☎0120-88-4970

タヒチ観光局 WEBサイト > <http://www.tahiti-tourisme.jp>



# TAHITI PEARL REGATTA

～ タヒチ・パールレガッタ ～



## タヒチ・パールレガッタ

タヒチ・ソシエテ諸島を舞台に繰り広げられるレースを楽しみながらボラボラ島や、タハア島などを巡るクルージングレガッタ。島から島へのロングレグからラグーン内でのトライアングルなどで構成され、変化に富んでいて魅力的なコースが特徴。毎夜開かれるタヒチアンダンスやポリネシアンミュージックあふれるパーティーも魅力のひとつです。



タヒチのヨットチャーター各社と業務提携、希望にあった船を手配いたします。

リーワード諸島の島々



航空券からホテルまで、オーガナイズしたからできる魅力ある旅を演出します。

### タヒチ・パールレガッタ <プログラム>

ライアテア島 (レースエントリー&ブリーフィング)  
ヒルサイドにて懇話会&ブランチ&レース  
ハイキネスイホテルにてスキッパー・ブリーフィング&ウエルカム・カクテル  
ディナー・パーティー&ポリネシアンショー

ライアテア島&タハア島ラグーン  
ライアテアからタハア島ラグーン内1周のレース  
表彰式&ポリネシアン・ブリーフィング  
ファイアーダンス&タヒチアンダンスを楽しみます

タハア島 - ボラボラ島  
タハア島からボラボラ島への外洋レース  
表彰式&タヒチアン・パーティー&ポリネシアンディナー  
スキッパーブリーフィング(祝賀祈禱)

ボラボラ島のラグーン  
ボラボラのラグーン内のトライアングルレース  
ファイナル表彰式&カクテルパーティー  
ボラボラ・ヨットクラブ訪問

レガッタスケジュール詳細、チャーター艇などの参加要項は別紙をご参照ください。  
公式ウェブサイト : <http://www.tahitipearlregatta.org.pl/> (英仏文)

## The Pearl of the Pacific

### 南太平洋の真珠

#### Bora-Bora - ボラボラ -

ボラボラ島は、その美しさから「太平洋の真珠」と讃えられています。白砂のビーチに縁取られた島の中心にはボラボラのシンボルともいえる険峻な山並みのオテマヌとバヒアの2つの山々がそびえ、モツと呼ばれる小さな島々とネットワークのように連なる環礁が島を囲んでいます。その内側には限りなく透明なラグーンが広がり、その縁から紺碧までのグラデーションは卓越した美しさです。ラグーン内は湖のように静かで、セイリングしながら移り変わる景色を楽しむのは格別です。ボラボラ島には水上/コンゴローも多く、伝統的なポリネシアンスタイルのバンガローは、快適さはもちろん、パレコニーからはステップや梯子が設けられ、ターコイズブルーのラグーンに直接泳ぎ入ることもできます。



## The Vanilla Island

### バニラの香る島

#### Tahaa - タハア -

ライアテア島と同じラグーンで囲まれたタハア島は、太古からの神秘的なポリネシアの魅力が残されている静寂と安らぎの島。ここでは、その自然を生かしたモツ(小さな島)へのエクスカッションや、パールファーム、4WDによるバニラ園観光なども楽しむことができます。エメラルド色のラグーンには、島を囲むように天国のようなモツが点在し、ラグナリウムと呼ばれる自然を生かしたアクアリウムでは、ゴーグルを通じて、ウミガメ、エイ、サメや色とりどりの熱帯魚と一緒に泳ぐこともできます。熱帯の花が咲き誇るタハア島に上陸すれば、バニラの甘い香りや、カラフルなガーデン、野生のバニラなどにも触れることができます。バニラのプランテーションではバニラ栽培の様子をガイドが詳しく案内してくれます。



## A Sacred Island to be Discovered

### 聖なる島への探訪

#### Raiatea - ライアテア -

マオリ族の大航海の起源として知られるポリネシア・トライアングルのハワイを頂点にイースター島とニュージーランドを結んだ大きな三角圏の中心に位置するライアテア島。言い伝えによればタヒチで最初に人が住み始めた島といわれていて、それは考古学的に重要な史跡である「マラエ」(Marae)からも知ることができます。この神聖な島ライアテアでは、古代ポリネシアの宗教の中心地となった最初のマラエ「タブタブアテアのマラエ」への散策や、ファアロア川の遡上などのライアテア島でしか体験できない見所も多く、太平洋地区でも突出したチャーターボートの拠点として多くのヨット会社がベースを構えています。十分な水深があるライアテア島は、ダイバーやヨットマンの天国です。

